日向市社会福祉協議会

ハートフル 12月号 2017年

社協だより

「ハマっちゃったのよねぇ～」

「地域福祉活動企画『ふくし食堂』のよこちゃんきよちゃん」のきよちゃんこと黒木清さんです。

日向市地域福祉サポーター連絡会「がむしゃら応援団」の一員として、ふくし食堂をはじめ、多くの地域福祉活動に積極的に活動されています。

福祉関係の職業でない清さんがなぜ地域福祉活動を？と聞いてみると「やってみたらハマっちゃったのよねぇ～」と笑顔。地域福祉サポーター養成講座から地域福祉活動企画コンテストへと参加した結果、興味をもったことに“考えるより、まず動く”と活動に参加。いつも笑顔で企画を引っぱってくれています。そして今も“動き続けて”います。

こんな笑顔が中心にある福祉活動の企画ひとつひとつが、日向市のふだんのくらしをしあわせにしていきます。

平成29年度　日向市地域福祉サポーター養成講座　　第１回～第３回の養成講座を終えて…

平成２９年度「日向市地域福祉サポーター養成講座」が、全3回に渡り開催されました。

養成講座修了後、日向市地域福祉サポーター連絡会（がむしゃら応援団）への登録を呼びかけ、新たに１６名が登録されました。（登録者合計９２名／平成２９年１１月１日現在）

これからも、がむしゃら応援団の皆さまのお力を借りながら実践活動を重ね、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進していきます。

第１回　養成講座　「地域福祉の基礎を知ろう！」　９月２９日（金）

受講者の感想（※一部抜粋）

◇「地域を良くしたい」「人の役に立ちたい」と、どこかで感じ、考えている人達と顔見知りになれたことが今日の発見です。

◇ まず、声かけ、仲良くなり、つながりをつくることで、いろいろなアイデアが生まれ、横、たてのつながりを生んでいきたいと思いました。

トメさん、フクちゃんコンビが「ふくし」の基礎について分かりやすくお話しました

初めて出会う人同士新しい発見があります

第２回　養成講座　「企画を体験してみよう！」

受講者の感想（※一部抜粋）

10/9（月）じんせい寺子屋

◇ 地域の他職種の方がどういった取り組みを行っているのか、地域のために何ができるのかを今回の活動で知ることができました。

◇「将来、自分が働く」というイメージが湧いてきたのではないかと思います。ワクワクさせる話し方の上手な方ばかりでした。

受講者の感想（※一部抜粋）

10/28（土）ご近所ウォーク＆気づけばヒョイ

◇今日は計画や実施時期の話でしたが、色んな話を聞いていると実際に参加するのが楽しみになってきました。

10/29（日）ドミノで繋ぐ「きずな」プロジェクト

今回は台風のため、ドミノの活動は中止となりました。また、企画を実践する際には参加者のみなさまへご案内させていただきます！

第３回　養成講座　「行動する力・気持ちを持とう！」　１１月１日（水）

受講者の感想（※一部抜粋）

◇肩の力を抜いて、もっと気軽に福祉に関わっていこうと思いました。

◇講座の時から「やらされ感」ではなく「自主性」を育てられるようにすると良いかなぁと思いました。地域には色んな方がいる、と、ボランティアや講座を通して思ったので、地域に貢献できるような人材になりたいと思いました。

企画を「実践」してみてわかったこと、気づいたこと

ふだんの暮らしを幸せにするために…あなたのできることから始めませんか？

宮崎県で地域福祉コーディネーターを養成して１０年経ち、県内に約６００人の地域福祉コーディネーターがいます。
日向市で地域福祉コーディネーターの研修を受けた方が「おせっ会」となり、おせっ会が、石田団長率いる「がむしゃら応援団」を生み出し、そしてこのような地域福祉サポーター養成講座を実施して、福祉活動を実践をしているところはどこにもありません。
みなさんも「できる時に、できること」をやっていただけると嬉しいなと思います。
いずれ私たちは助けらますので、そういう意味では、色んな人との繋がりが自分を助けることになるのではないかと思います。
お互いに力を出し合って、良い地域にしていきましょう。

トメさん、北町１区座談会に参加 ～地域座談会から見えてきたもの～

１０月３０日（月）日向市中央地域包括支援センター主催による北町１区の座談会が開催され、特別ゲストとしてトメさんも参加させてもらいました。

北町１区は認知症の理解を深めるために、定期的に勉強会を行っており、この日は**「私や大切な家族が認知症になっても、北町１区で暮らしていけるまちづくりひとづくり」**をテーマに、グループワーク（クロスロード）が繰り広げられました。結果から分かったことは…。

［グループで話し合った内容から…。］　※参加者１８名　一部抜粋

問１）あなた自身もしくは、あなたの家族が認知症になった場合、隣近所に相談できますか？

YES⇨１１名　　NO⇨６名　　無記入 １名

［YESの理由］
◇やはり一人では抱えられません。
　知ってもらった方がいいと思います。
◇皆にわかってほしい。何かあった時お願いできる。
◇隠すことなくありのままに話がしたい。
◇認知症は、はずかしいことと思わず楽しく話が、
　気が合う人を作りたい。
◇今日良き薬などがあるので周りから知恵を頂きたい。
　（知識のある方に相談。）

［NOの理由］
◇恥ずかしい。（知られたくない。）
◇あまり深い付き合いがない。（隣近所の付き合いが薄い。）
◇家族のことはあまり人に言えない。
◇友達・子どもに相談。
◇なかなか相談できる関係ではない。
　（相手に負担になりそう。うわさになりそう。）

それぞれの回答から見えてきたもの…

❀認知症の捉え方も人それぞれ。話せる人、話せない人それぞれ･･･。
❀近所づきあいのある人は、「知ってもらいたい。」「助けてもらいたい。」と感じている傾向がある。

問２）隣近所から認知症の相談を受けた場合、相談にのることができますか？

YES⇨１４名　　NO⇨４名

［YESの理由］
◇聞くことはできると思うが、納得できる回答ができるかな。
◇受けたことでその人のことを気にかけるようになるから。
（注意して危険なことから守ることができるようになると思う。）
◇家族が認知症を患っているので経験から伝えられる。
（情報など。）確定的な言い方は避けたい。
◇仕事がら少し知識がある。困っている人は助けたい。
　早期発見が大切だと思う。

［NOの理由］
◇まだ身内にそのような人がいなかったので、
　答えられないと思います。
◇まだ認知症について相談を受ける自信がない。
◇話は聞いてあげようと思うが知識がないので…。

それぞれの回答から見えてきたもの…

❀相談されたら助けてあげたいという地域住民の意識はある。
　しかし、相談されても「認知症の知識がない。」ことで、「相談にのれない。」という意見もあった。
❀認知症の人が身近にいないことで、認知症の方の相談や対応が「イメージできにくい」。

トメさんvoice（トメのさんの声）

「いやぁ～座談会に参加してよかったぁ。やっぱり地域に暮らす住民の生の声を聴くことができたわね。人と人の常日頃のつながりや地域で共に生きるという意識を持つこと、大事じゃねぇ。認知症のことも知っているといないのでは大違い。正しい理解を持ってもらうだけで、地域は暮らしやすくなるかもね～。トメもこれから“今日行く、今日用（今日、行くところがある、今日、用がある”をモットーに、認知症のことや福祉のこと伝えて行こうかね。地域のみんないつでもトメに声かけてねぇ～。」

“地域福祉”について“熱く”語り合う!

あわせにするために、これまでやってきたこと!　そして、これからやっていくこと!～

第５回地域福祉実践研究九州セミナー「ヒュー！日向」

「丸ごと巻き込む実践から、我が事への挑戦」

日向市で、

～ふだんのくらしをしあ

平成29年11月18日（土）、19日（日）に、九州各県の地域福祉実践者が日向市に集い、地域福祉実践について“熱く”研究・討議を行いました。今回は記録写真で九州セミナーの雰囲気をお伝えいたします。詳細な内容は1月号（社協だより）で報告いたします。

日向市相談・生活支援センター心から
生活困窮者自立支援事業　任意事業

居場所サロン

今年度の居場所サロンは、ひと工夫してます！

居場所サロンは、ひきこもり・ニートと言われる若者（おおむね40歳まで）への自立に向けた支援です。様々なプログラムを通して自立に向けた生活習慣づくりや人間関係づくりの機会を支援しています。

今年度は、参加者との個人面談により、個別の年間目標を立て、達成に向けてのプログラムを設定・目標に沿った振り返りを行っているところです。

これは、3年目を迎えた“今”だからできることなのかもしれません。通い慣れてきたこの場を『居場所』として捉えるか、『自立への道』として利用していくのか、活動の中でも考える機会を多く作っています。

今年度のプログラムは、『体験したことのない事に挑戦しよう！』と、8月に華道、10月にデイキャンプを実施しました。また、1月には茶道にも挑戦していく予定となっています。

今年度の取り組みとして、プログラム毎に担当者を決め、実施に向けた調整（メンバーの役割分担、講師との打ち合わせ、会場の確認等）を行っています。“担当者を中心に動く”を意識することで、自分だけでなくメンバーの気持ちも組み込んだプログラム内容を展開する事ができています。また、全員が担当を経験し、進行やプログラム調整を実施するなかで、ふたつのプログラムが終了した現在は、年度当初よりも明らかに積極的になり、サロン日以外でも自主性のある行動が見られ、会議でも活発な意見が出るようになりました。

企画会議

華道体験

デイキャンプ（日知屋城散策）

華道体験では、地域の方々に講師になっていただき、初対面での交流が苦手なメンバーも体験の中で会話が弾んでいました。デイキャンプにおいては、本来の実施予定日に台風最接近で延期となりましたが、それまでの企画会議で確認調整を続けたこともあり、大きな課題を残すことなく終える事ができました。これは、全員が担当する企画に責任を持って取り組んだ結果だと思います。

役割を担うことで、必然的にメンバーに関心を持つことができ、メンバーの事も自分の事として捉える力を養っている段階にあります。

昨年同様、民生委員・児童委員さんとの福祉の森清掃活動・グラウンドゴルフ大会にも参加させて頂き、気軽に声をかけてもらえるようにはなってきましたが、“地域とのつながり”としては、まだ充分とは言えない状況にあります。誰もが支え合う社会を目指すこれからにとって、メンバーにしかできない役割もあると思いますので、その魅力を発揮できるように、今後もたくさんの地域住民の方の理解を得て、力を借りながら前進していくことを期待しています。地域の一員として力強く生活していけるように、今後もご協力をお願いいたします。

居場所サロン担当：水筑優子

じどうかん・センターだより

指定管理者として日向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

ひ ちやじどうせんたー
日知屋児童センター ☎:52-8443

12月9日（土）

『赤い羽根共同募金街頭募金活動』（小学生対象）

☆君の少しの勇気と頑張りで、たくさんの人を笑顔にできるよ！
その喜びは体験しなくちゃ分からない！！

❀時　　間　９：３０～１２：００
❀場　　所　イオン日向店
※集合、解散は日知屋児童センターです。
※公用車で送迎します。
❀定　　員　３０名

12月16日（土）

『子どもだって忘年会！』（小学生対象）

☆忘年会は大人だけのお楽しみ？！子どもだってワイワイ♪ドキドキ♥盛り上がっちゃお！！

❀時　　間　１４：００～１６：００
❀参 加 料　無　料
❀定　　員　小学生４０名
❀申込締切　定員になり次第

だいおうだにじどうかん
大王谷児童館 ☎:66-1177

12月7日（木）

『読み聞かせ会』（幼児親子対象）

☆楽しいお話の世界にいってみよう♪
「虹の会」の皆さんによる読み聞かせです。

❀時　　間　１０：３０～１１：３０

12月15日（金）

『クリスマス会』（幼児親子対象）

☆ウキウキワクワクのクリスマス！
サンタさんのプレゼントはなにかなぁ♪

❀時　　間　１０：３０～１１：３０
❀定　　員　親子で２５組程度
❀申込締切　定員になり次第

12月16日（土）

『クリスマス会』
（小学生対象）

☆メリークリスマス♪
ダンスをしたり、ゲームをしたりしてみんなで楽しく過ごしましょう。

❀時　　間　１４：００～１５：３０
❀申込締切　１２月１４日（木）

「秋の仲良し遠足」行ってきました!

11月４日（土）、「秋の仲良し遠足」でルピナスパークに行ってきました！秋晴れのもと心地よい風を感じながら、大きな遊具で鬼ごっこをしたり、広い芝生でサッカーやバドミントンをして思いっきり楽しみました！！

「和太鼓に親しもう」を開催!!

１０月２８日（土）に、日向太鼓「天地鼓響」の中川常雄さんにご指導いただき和太鼓教室を開催しました。

ドンドコドンドコ・・・と迫力ある演奏に子ども達は一心に聴き入っていました。長胴太鼓や桶胴太鼓の音、軽やかな狐の舞いに歓声があがり、団員のカッコ良さと実際に太鼓を叩いて体全体でジンジン響く感触を味わいながら、日本古来の伝統ある「和太鼓」の素晴らしさを知りました。

求人情報

日向市社会福祉協議会では、以下の職種について求人を行っています。

地域福祉を推進する社協で、一緒に働きませんか？

■有期雇用契約職員

職種名	雇用形態	業務内容
放課後児童支援員	臨時職員 時給 800円	放課後児童クラブにおいて、放課後の児童への遊びの指導や健全育成に従事します。
調理員	臨時職員 時給 800円	市内の登録された高齢者宅へ昼・夜の2回、お弁当を調理し、配達します。配達時には声かけによる安否確認や食器の回収を行います。

対象年齢や出勤日数、時間、応募方法など詳しい内容は、ハローワーク日向公開の求人票をご確認ください。

また、雇用ではありませんが、職員の休暇取得時や繁忙期などに業務補助として従事していただく登録型の代替員を募集しています。

■代替員登録

代替従事	業務内容
放課後児童支援員補助	放課後児童クラブにおいて、放課後児童支援員の指示にしたがって業務補助を行います。
調理員補助	高齢者宅へ配達するお弁当の調理業務を調理員の指示に従い補助します。
駐車場管理	市営駐車場の管理人代替えとして、駐車券の発券や料金領収事務を行います。

従事された際の謝礼金や従事時間など、詳細は総務課総務係までお問い合わせください。

そのほか、求人や採用に関することは総務係までお問い合わせください。　　担当：総務係　穴谷

トメの読んでみらんね～！

「認知症」書籍紹介

認知症応援団長トメが今回おすすめする本は、こちら！

「いつもおおきん」じゃよ～。

※「おおきん」は福井県・滋賀県地方の方言で“ありがとう”

本を読みたくても時間がなくて・・・・。と思っちょる皆さん、この本は詩集じゃから、アッというまに読めるよ～。

「認知症一行詩コンクール」から選ばれた詩を１冊にまとめちょるとよ。読むほどに胸が熱くなる詩が写真と共にのっちょるよ。　トメも目頭が熱くなったわ～。ぜひ、お手に取って読んでみちゃんな～い。

大王谷コミュニティセンターの図書室には、認知症図書がたくさんあるから来てね～。

【お問い合わせ】TEL(0982) 52-2572　担当　渦尾美紀

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略　　平成２９年１０月分

喪主（または寄付者）	故人	地区
江藤　さなえ	江藤　文男	梶木
上平　裕	上平　俊雄	向江町
関谷　麗子	関谷　金治	往還
中野　千代子	中野　一歳	亀崎中
黒木　辰男	黒木　ハナ	永田
渡部　味和子	渡部　強	鶴野内
佐藤　加代子	佐藤　勤	松原
小野　伊佐美	小野　美典	西草場
三樹　久美子	三樹　守	曽根
肝属　節代	肝属　敏夫	山下
甲斐　直幸	甲斐　ケサ子	笹野西
谷口　洋一	谷口　東市	小野田
山本　待子	山本　清	亀崎中
髙橋　純子	髙橋　彰一郎	迎洋園

〈一般寄付金〉敬称略　　平成２９年１０月分

氏名・団体名
渡邊　康久

社協活動日記

日向市民生委員児童委員協議会
事務局　黒木　麻砂美

11月15日（水）、日向市民生委員児童委員協議会の「福祉の森　清掃活動」が行われました。

“福祉の森”は大王谷陸上競技場の上にあり、昭和52年民生委員制度60周年事業として「日向市民の豊かな自然を愛する人間性を育てる」という願いのもと日向市民児協と日向市、日向市社協、日向営林署の指導協力により植樹が行われた森です。現在も日向市民の散歩道・憩いの場になっています。

民生委員児童委員は、さまざまな活動を通じて、日向市の安心を支えています。願いは、地域住民の“ふだんのくらしの幸せ”です。ちょっとした不安を感じたら、一人で悩まずに一番身近な相談役の民生委員児童委員にご相談ください。当日は、木枯らしの吹く中、民生委員児童委員を中心に、市・社協職員と清掃を行い、遊歩道がきれいになりました。ぜひ、みなさまも“福祉の森”へウォーキングに行ってみませんか？遊歩道途中にある展望所からの眺めは日向市が一望できます。絶景ですよ!!

【発行者】
社会福祉法人
日向市社会福祉協議会
［日向市生活相談・支援センター心（ここ）から］
［日向市ボランティア・市民活動センター］

〔日向本所〕
〒883-0034　日向市大字富高207-3
日向市総合福祉センター
TEL(0982)52-2572／FAX(0982)52-9562
ホームページアドレス　http://hyuga-shakyo.or.jp/

〔東郷支所〕
〒883-0102　日向市東郷町山陰丙1265-2
日向市東郷地区総合福祉センター
TEL(0982)69-2116／FAX(0982)69-2274
Eメールアドレス　hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。

この情報紙は再生紙を利用しています。
印刷所　有限会社　第一印刷